

## 大会で得た刺激

「大きな災害が起きたとき、高  
校生の自分たちでも、手伝えるこ  
とがある。そのことを学べたこと  
は大きいです」と話してくれたの  
は、副会長の村井さん。先日、網  
走市で開催された『全道高等学校  
ボランティア研究大会』で、防災  
がテーマの分科会に参加し、東日  
本大震災でのボランティア活動の  
実例を学んできました。

会員の武田さんは、同研究大会  
で、他校の活動内容に関心を持ち  
ました。

「高齢者の話し相手、あるいは  
ハンドベル演奏など、これまで自  
分たちが行っていないジャンルの  
ボランティア活動の実績を聞いて  
きたので、自分たちも挑戦してみ  
たいです」と、今後の意気込みを  
語ってくれました。

武田さんの思いを、来年度から  
の活動内容に反映すべく、耳を傾  
ける会長の岩浅さん。3年生が引  
退した、これからの新生ボランテ  
ィア同好会を活性化していく新し  
いリーダーです。責任の重さを感じ  
ながらも、会の雰囲気助けられ  
ていると語ります。

「僕たちの会は明るい雰囲気が  
特徴で、メンバー同士の仲がとて



▲5月に開催された『登別こいのぼりマラソン』での給水ボランティアの様子。

も良いです」と話す岩浅さんの横  
で、「だからこそ、団結力が強い  
よね」と付け加える2年生の姥名  
さん。会全体で新リーダーを支え  
ます。

## ボランティア活動で学んだもの

毎週、校内外の清掃活動に地道  
に取り組み、また、『のぼりべつ  
夏祭り』では、遊具担当として子  
どもたちの遊び相手を務めるなど、  
多様な活動を行っている同会。仲  
間を大切にする会の伝統は、ボラ  
ンティア活動を通じて養われたも  
のかもしれない。

卒業後の進路を会員の皆さんに  
聞くと、さまざまな未来の自分を  
語ってくれました。その中でも共  
通していたのは「人の喜ぶ顔が見  
たい」、「地域へ貢献したい」な  
どのボランティア精神。同会の活  
動は、会員の心に大きな財産を残  
しています。



北海道登別青嶺高校で10年以上の歴史を持つ、ボランテ  
ィア活動を目的とした同好会。1年生で会長の岩浅元貴さん  
を中心に、2年生3人、1年生5人の8人で、多様な活動を行  
っている。(写真前列左より時計回りで、岩佐会長、紺野健  
介さん、細野和浩さん、姥名佑樹さん、武田凌介さん、副会  
長の村井拓斗さん)



KIRARI

## 北海道登別青嶺高校 ボランティア同好会

各種イベントのスムーズな運営や環境  
美化には、地道なボランティア活動を行  
う人々の存在が欠かせません。

『北海道青嶺高校ボランティア同好会』  
ではこれまで、『登別こいのぼりマラソ  
ン』での給水ボランティアや、地域で  
のごみ拾いなど、さまざまな活動を行  
ってきました。

会長をはじめとした会員6人の皆さん  
に、ボランティアへの思いや、これまで  
の活動を通じて得たことなどを伺いま  
した。

## さまざまな活動のボ ランティアをこれか らも